

エコアクション21 環境経営レポート



対象期間：令和6年5月～令和7年4月



発行日 令和 7年 7月 1日



(株)高橋建工

高知県高岡郡佐川町本郷耕 1837

目 次

1. 取組の概要	1
2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日	2
3. SDGS 宣言書	3
4. 環境経営方針	4
5. 実施体制	5
6. 環境経営目標	6
7. 環境経営計画	7
8. 環境経営目標の実績	8
9. CO2 排出量の推移	9
10. 環境経営計画の取組結果とその評価	10
11. 次年度の取組	11・12
・次年度の環境経営目標	
・次年度の環境経営計画	
13. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、 訴訟等の有無	13
14. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果	14
15. その他の取組	15

【発行責任者：代表取締役 高橋 寛】

1. 組織の概要

[事業 者] 株式会社高橋建工

[代 表 者 名] 代表取締役 高橋 寛

[設 立 年] 平成 16 年
平成 27 年 5 月株式会社設立

[所 在 地] 〒789-1221
本 社 高知県高岡郡佐川町本郷耕 1837 番地
資機材置場 高知県高岡郡佐川町本郷古庵 176 番地

[環境管理責任者及び担当者]

平松 かおり

連絡先 TEL/FAX 0889-22-7237

E-mail takaken0461@estate.ocn.ne.jp

[事業活動の内容]

建設業許可 高知県知事許可（特－3）9785号

建設業の種類 建設業

建築工事業	土木工事業	とび・土工工事業	舗装工事業
解体工事業			

[事業活動の規模]

資本金	20,000 千円
完成工事高	226,000 千円（決算時期 令和 7 年 4 月 30 日）
従業員数	8 人
事務所床面積	36 m ²
倉庫床面積	102 m ²
資材置場面積	80 m ²

（事業年度 5 月～4 月）

2. 対象範囲

株式会社高橋建工 全社（全組織・全活動）

対象事業所

本 社 789-1221 高知県高岡郡佐川町本郷耕 1837 番地

資機材置場 789-1221 高知県高岡郡佐川町本郷古庵 176 番地

事業活動 建設業

〔 建築工事業 土木工事業 とび・土工工事業 舗装工事業
解体工事業 〕

【レポート対象期間】

令和6年5月1日～令和7年4月30日

【環境経営レポート発行日】

令和7年7月1日

【次回環境経営レポート発行予定日】

令和8年7月1日予定

【作成責任者】

環境管理責任者 平松かおり

SDGs 宣言

SDGs 達成に向けた経営方針

株式会社高橋建工は地球環境を大切にすると共に、SDGS に賛同し持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを社員一人ひとりが行っています。

① 電力、自動車燃料の省エネによる二酸化炭素排出量の削減



② 廃棄物排出量削減



③ 水使用量の削減



④ 環境に配慮した施工



⑤ 地域貢献



SDGs 達成に向けた宣言書

	SDGs 達成に向けた 重点的な取り組み	2030 年に向けた指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況
環境 社会 経済	エコアクション 21 の 取組みをもとに会社、 現場で排出される (k g -CO2) の削減 (2023)	CO2 排出量の 10%削減 (2022 : 29,526kg-CO2 2030 : 26,573 kg-CO2)	エコアクション 21 の活動 として会社、現場で排出さ れる CO2 排出量 1.4%削減 (29,171 kg-CO2) (2024 →2025)
環境 社会 経済	資格取得のサポート (2023)	資格取得率の増加 (2022 : 30%→2030 : 70%)	資格取得率の増加無し (35%) (2024→2025)
環境 社会 経済	授業員の健康管理の 為健康経営に関する 取組みを継続する (2023)	ワークライフバランス推 進企業 (2022 : 取得済→ 2030 : 継続取得)	ワークライフバランス推 進企業取得継続 (2024→2025)

3. 環境経営方針

経営理念

当社は、高知県高岡郡地域から高知県内全域を対象に事業活動を行っている会社として、建設事業による環境への影響を考慮し、地域の環境保全に向けて、自主的積極的に社会のニーズに合った省エネ機器、省エネ工事を提案し、効率的な運営を目指した環境経営に取り組み環境負荷を低減し、継続的改善による環境経営を推進していきます。

経営方針

- ◆環境関連法規制等を遵守します。
- ◆建設機械、車輛等の燃料使用量の抑制により二酸化炭素排出量を削減します。
- ◆電力使用量を抑制し、二酸化炭素排出量を削減します。
- ◆廃棄物の発生抑制、削減、リサイクルを促進します。
- ◆建設現場における騒音、振動の低減を図ります。
- ◆環境配慮型工法を推進し、環境に優しい資材の使用を促進します。
- ◆水使用量を削減します。
- ◆グリーン購入を促進します。
- ◆社会貢献活動に積極的に取り組みます。
- ◆環境経営方針を全従業員へ周知します。
- ◆環境経営レポート等、環境情報については広く外部に公表します。
- ◆社員とともに働きがいのある職場づくりに努めます。

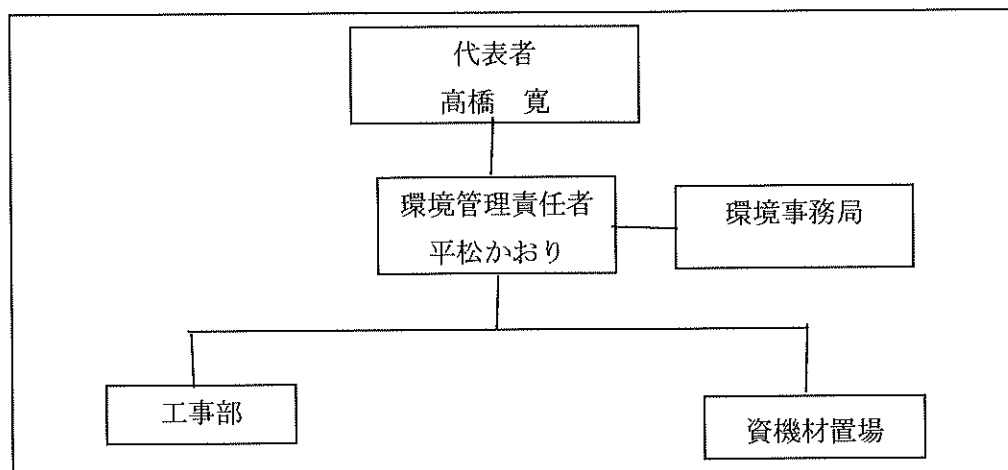
制定日 平成25年 9月 24日

改定日 令和 2年 5月 1日

株式会社高橋建工

代表取締役 高橋 寛

4. 実施体制



役割・責任・権限

代 表 者	・環境経営に関する総括責任 ・環境管理責任者の任命 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の策定、見直しを従業員へ周知する ・環境経営目標、環境経営計画の見直しと評価を行う ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境経営レポートの承認 ・経営資源（人、物、資源、情報）を用意する
環境管理責任者 (環境管理)	・EA-21 システムの確立、実施推進、維持管理 ・環境経営目標、環境経営計画書を作成する ・環境関連法規などの取りまとめ表を作成承認 ・環境関連法規など取りまとめに基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境活動の実績集計 ・問題点の発見是正、予防処置の実施 ・環境経営計画の取組結果を代表者に報告する ・環境経営レポートの作成 ・安全教育、訓練計画の実施 ・文書類の作成、管理
工 事 部 資 機 材 置 場	・環境経営方針を理解し、環境への取組を通じた業務の効率化を図る ・自主的、積極的に環境経営への参加を行う

5. 環境経営目標

(1) 基準値と本年度の目

項目		単 位	基準値	目 標
			H29・H30・R1 3年間平均(基準値)	R6年5月1日～ R7年4月30日
軽油使用量		L	6,208	5,836(-6%)
ガソリン使用量		L	5,831	5,481(-6%)
電力使用量		kWh	3,489	3,280(-6%)
CO2	総排出量	kg-CO2	30,688	28,847(-6%)
排出量	原単位	kg-CO2/百万円	148	139(-6%)
一般廃棄物排出量		kg	115	108(-6%)
産業廃棄物排出量		t	301.8	283.7(-6%)
水使用量		m ³	6.16	5.79(-6%)
産業廃棄物再資源化率		%	100%	100%
グリーン購入率		%	73	95
環境配慮資材		件	全件	全件
環境配慮工事		件	全件	全件
社会貢献活動		回	4	4

・電力のCO2排出係数は四国電力
調整後排出係数 0.371kg-CO2/kWh を
使用

・グリーン購入率(%)は事務用品購
入金額に占めるグリーン商品購入金額の
割合を示す

・環境配慮工事は受注全体を対象とする
・環境配慮資材は工事現場を対象とする
・水使用量は代表者自宅と一緒になっ
ているため会社分は1%とする

・化学物質は使用していないので設定
していません。

・産業廃棄物再資源化率(%)=再資源化
量÷総排出量×100

(2) 中長期目標

項目		単 位	H29・H30・R1 3年間平均 (基準値)	R7年5月1日～ R8年4月30日	R8年5月1日～ R9年4月30日	R9年5月1日～ R10年4月30日
				目標(%)は削減率	目標(%)は削減率	目標(%)は削減率
軽油使用量		L	6,208	5,773(-7%)	5,711(-8%)	5,649(-9%)
ガソリン使用量		L	5,831	5,423(-7%)	5,365(-8%)	5,306(-9%)
電力使用量		kWh	3,489	3,245(-7%)	3,210(-8%)	3,175(-9%)
CO2	総排出量	kg-CO2	30,688	28,540(-7%)	28,233(-8%)	27,926(-9%)
排出量	原単位	kg-CO2/百万円	148	138(-7%)	136(-8%)	135(-9%)
一般廃棄物排出量		kg	115	107(-7%)	106(-8%)	105(-9%)
産業廃棄物排出量		t	301.8	280.7(-7%)	277.7(-8%)	274.6(-9%)
水使用量		m ³	6.16	5.73(-7%)	5.67(-8%)	5.61(-9%)
産業廃棄物再資源化率		%	100%	100%	100%	100%
グリーン購入率		%	73	95	95	95
環境配慮資材		件	全件	全件	全件	全件
環境配慮工事		件	全件	全件	全件	全件
社会貢献活動		回	4	4	4	4

6. 環境経営計画

期間 令和6年5月～令和7年4月

取組項目		活動計画の内容	担当者
CO2 排出量削減	電力使用量 削減  	事務所照明の節電	環境事務局 環境管理責任者
		休憩時間、留守中の消灯	
		エアコンの節電、温度設定(夏:28℃・冬:20℃)	
		クールビズ・ウオームビズ適応策	
		休日前に PC のコンセントを抜く	
	ガソリン・軽油・重油等の使用量の削減  	エコドライブの推奨	工事部担当者
		空ふかし等の禁止	
		アイドリングストップの推進	
車両の定期的な保守点検の実施			
水使用量削減  		節水に心がける(節水喚起シールの貼付による啓発)(漏水の点検)	環境事務局 環境管理責任者
産業廃棄物排出量削減 一般廃棄物排出量削減     		廃棄物の分別(マニフェストによる適正処理の徹底)	
		再資源化を図る	
		不要紙の再利用	
		コピー用紙の裏表使用	
		空き缶等は分別してリサイクルする	
		使用済みインクカートリッジのリサイクル	
グリーン購入 		事務用品のエコラベル商品等の購入	環境管理責任者
		古紙率の高いコピー用紙の購入	
環境配慮資材  		環境に配慮した製品の優先的使用	工事部担当者
		県内産資材の優先的購入、木製看板、木製型枠使用	
環境配慮工事   		工事現場周囲への騒音、振動対策を行う (防音、防振対応の機械を使用する。防音シートを張る)	工事部担当者
		工事現場周囲への粉塵対策を行う。 (適度な散水等を行なう。防塵シートを張る)	
		民間住宅の省エネを考えた工事の提案をする	
		LED 省エネ機器の提案をする	
社会貢献活動 		地域の清掃活動への参加	工事部担当者
		地域のお祭りの準備・手伝い	
		交通エコポイント活動社会還元事業への寄付	
その他		古切手、プルタブ、ペットボトルキャップ 収集リサイクル	環境管理責任者
SDG s 活動		SDG s への取り組み	

7. 環境経営目標の実績

本年度実績及び目標達成状況

令和6年5月～令和7年4月

項目		単位	3年間平均 (基準値)	目 標	実 績	達成率	評価
				R6. 5. 1 R7. 4.30	R6. 5. 1 R7. 4.30		
軽油使用量		L	6,208	5,836(-6%)	4,859	120%	○
ガソリン使用量		L	5,831	5,481(-6%)	7,193	76%	×
電力使用量		kWh	3,489	3,280(-6%)	7,344	45%	×
CO2 排出量	総排出量	kg-CO2	30,688	28,847(-6%)	31,948	90%	△
	原単位	kg-CO2/百万円	148	139(-6%)	141	99%	△
一般廃棄物排出量		kg	115	108(-6%)	155	70%	×
産業廃棄物排出量		t	301.8	283.7(-6%)	243.2	117%	○
水使用量		m³	6.16	5.79(-6%)	5.60	103%	○
産業廃棄物再資源化率		%	100%	100%	100%	100%	○
グリーン購入率		%	73	95	96	101%	○
環境配慮資材		件	全件	全件	全件	100%	○
環境配慮工事		件	全件	全件	全件	100%	○
社会貢献活動		回	4	4	4	100%	○

※達成率 100%以上○ 90%以上～100%未満△ 90%未満×

※電力のCO2排出係数は、四国電力の調整後排出係数0.371kg-CO2/kWhを使用。

※グリーン購入率(%)は事務所用品購入金額に占めるグリーン商品購入金額の割合を示す

※化学物質は使用していないので設定していません

※産業廃棄物再資源化率(%)=再資源化量÷総排出量×100

※環境目標未達成理由

- ・ガソリンの未達成については、工事場所に伴い各車両の利用の増加や、人員の増加、遠方での工事による。
- ・電気使用量の未達成については、人員の増加によりPCの増加があった為、猛暑によりエアコンの使用が多くなった為
- ・一般廃棄物排出量の未達成については、事務所の整理等によるコピー用紙、カタログの排出が多かった為

●過去4ヵ年の環境負荷実績推移

項目	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
完成工事高	百万円	262	230	261	226
軽油使用量	L	4,899	4,492	4,764	4,859
ガソリン使用量	L	6,434	6,699	6,292	7,193
電力使用量	Kwh	3,411	3,900	5,064	7,344
CO2排出量	kg-CO2	29,526	29,186	28,769	31,948
売上高あたりのCO2排出量原単位	kg-CO2/百万円	112.7	126.9	110.2	141.4

8. CO2 排出量の実績推移

年度	単位	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
売上高（完成工事高）	百万円	197	259	258	262	230	261	226
CO2 排出量	Kg-CO2	31,550	30,193	28,768	29,526	29,186	28,769	31,948
売上高百万円当たりの CO2 排出量原単位	Kg-CO2 ／百万円	160.2	116.5	111.5	112.7	126.9	110.2	141.4
従業員数	人	6	6	6	6	6	8	8

エネルギーコスト概算

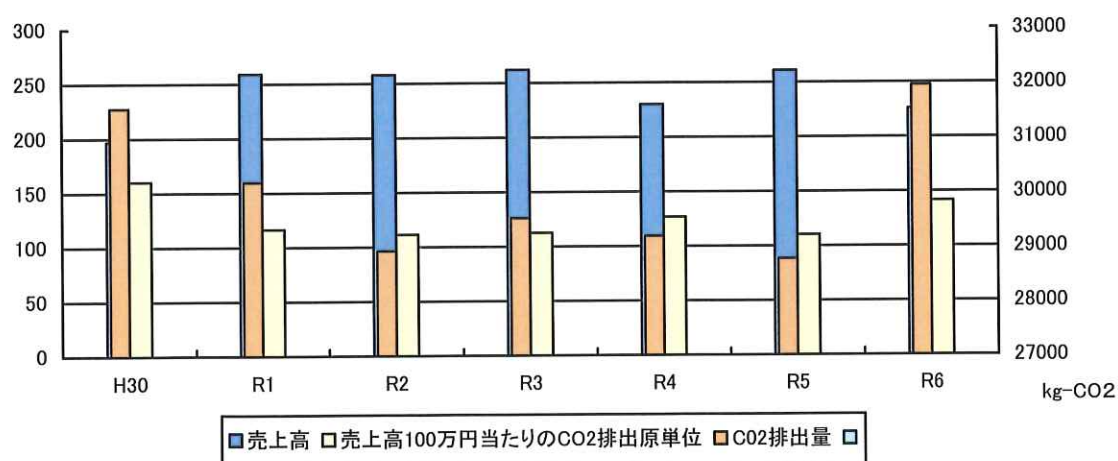
項目	単位	使用量	単価(仮)	金額(円)
ガソリン	L	7, 1 9 3	1 7 9	1, 2 8 7, 5 4 7
軽 油	L	4, 8 5 9	1 2 1	5 8 7, 9 3 9
電 力	kWh	7, 3 4 4	3 2	2 3 5, 0 0 8
合計金額				2, 1 7 9, 9 4 6

- ・年間のエネルギーコストは概算：約 2 1 8 万円
- ・当該年度を基準とした場合、CO2 排出量 5 %削減した場合約 1 0 . 9 万円の節約となる。
- ・売上高に占めるエネルギー費用の割合は約 1 %

1 トン当たりのエネルギーコスト

- ・当該年度を試算 1 トン当たりの CO2 は 6 . 8 万円

CO2排出量の実績推移グラフ



9. 環境経営計画の取組結果とその評価 期間 令和6年5月～令和7年4月

※○達成、△不十分、×未達成 評価は、

取組項目	活動計画の内容	取組結果	評価
電力使用量削減	事務所照明の節電	外出時・休憩時間こまめな節電	△
	休憩時間、留守中の消灯	電に心がけたが感染防止の為、換気を必要とする為、設定温度が不十分となった	△
	エアコンの節電(夏:28℃・冬:20℃)		△
	クールビズ・ウォームビズ適応策		○
	休日前にPCのコンセントを抜く		○
ガソリン・軽油・重油等の使用量の削減	エコドライブの推奨	車輦に関しては意識して活動に取組んだ	○
	空ふかし等の禁止		○
	アイドリングストップの推進		○
	車両の定期的な保守点検の実施		○
水使用量の削減	節水に心がける(節水喚起シールの貼付による啓発)(漏水の点検)	節水できた	○
産業廃棄物排出量の削減	廃棄物の分別(マニフェストによる適正処理の徹底)	各現場において徹底できていた	○
	再資源化を図る		○
一般廃棄物排出量削減	不要紙の再利用	不用紙の再利用、コピー用紙の裏表利用はほぼ徹底できた	○
	コピー用紙の裏表使用		○
	空き缶等は分別してリサイクルする		○
	使用済みインクカートリッジのリサイクル		○
グリーン購入	事務用品のエコラベル商品等の購入	ほぼ購入して利用できた	○
	古紙率の高いコピー用紙の購入		○
環境配慮資材	環境に配慮した製品の優先的使用	環境に配慮した製品、県内産資材を使用できた	○
	県内産資材の優先的購入		○
	木製看板、木製型枠使用		○
環境配慮工事	工事現場周囲への騒音、振動対策を行う (防音、防振対応の機械を使用する。防音シートを張る)	環境に配慮し防音シート、防塵シートを張り徹底できた	○
	工事現場周囲への粉塵対策を行う。 (適度な散水等を行なう。防塵シートを張る)		○
	民間住宅の省エネを考えた工事の提案をする		○
	LED省エネ機器の提案をする		○
社会貢献活動	地域の清掃活動への参加	地域の清掃活動、お祭りの準備・手伝いに参加できた	○
	地域のお祭りの準備・手伝い		○
	交通エコポイント活動社会還元事業への寄付		○
その他	古切手、プルタブ、ペットボトルキャップ収集リサイクル	取り組んでいる	○
SDGs活動	SDGsへの取組み	取り組んでいる	○

・担当の責任者からのヒアリングにより毎月確認し、全体の評価を環境管理責任者が行った

10. 次年度の取組

・次年度の環境経営目標

項目	単位	基準値	目標
		R4・R5・R6 3年間平均(基準値)	R7年5月1日～ R8年4月30日
軽油使用量	L	4,705	4,658(-1)
ガソリン使用量	L	6,726	6,659(-1)
電力使用量	kWh	5,436	5,382(-1)
CO2 総排出量	kg-CO2	30,195	29,893(-1)
排出量 原単位	kg-CO2/百万円	126	125(-1)
一般廃棄物排出量	kg	140	139(-1)
産業廃棄物排出量	t	221.2	219.0(-1)
水使用量	m ³	5.26	5.21(-1)
産業廃棄物再資源化率	%	100%	100%
グリーン購入率	%	90	92
環境配慮資材	件	全件	全件
環境配慮工事	件	全件	全件
社会貢献活動	回	4	4

・電力のCO2排出係数はR7年3月18日公表の四国電力調整後排出係数0.464kg-CO2/kWhを使用

・グリーン購入率(%)は事務用品購入金額に占めるグリーン商品購入金額の割合を示す

・環境配慮工事は受注全体を対象とする
・環境配慮資材は工事現場を対象とする

・水使用量は代表者自宅と一緒にしているため会社分は1%とする

・化学物質は使用していないので設定していません。

・産業廃棄物再資源化率(%)=再資源化量÷総排出量×100

(2) 中長期目標

項目	単位	R4・R5・R6 3年間平均(基準値)	R8年5月1日～ R9年4月30日	R9年5月1日～ R10年4月30日	R10年5月1日～ R11年4月30日
			目標(%)は削減率	目標(%)は削減率	目標(%)は削減率
軽油使用量	L	4,705	4,611(-2)	4,564(-3%)	4,517(-4%)
ガソリン使用量	L	6,726	6,591(-2)	6,524(-3%)	6,457(-4%)
電力使用量	kWh	5,436	5,327(-2)	5,273(-3%)	5,219(-4%)
CO2 総排出量	kg-CO2	30,195	29,591(-2)	29,289(-3%)	28,987(-4%)
排出量 原単位	kg-CO2/百万円	126	123(-2)	122(-3%)	121(-4%)
一般廃棄物排出量	kg	140	137(-2)	136(-3%)	134(-4%)
産業廃棄物排出量	t	221.2	216.8(-2)	214.6(-3%)	212.4(-4%)
水使用量	m ³	5.26	5.15(-2)	5.10(-3%)	5.05(-4%)
産業廃棄物再資源化率	%	100%	100%	100%	100%
グリーン購入率	%	90	94	96	98
環境配慮資材	件	全件	全件	全件	全件
環境配慮工事	件	全件	全件	全件	全件
社会貢献活動	回	4	4	4	4

・次年度の環境経営計画

取組項目		活動計画の内容	責任者
CO2 排出量 削減	電力使用量 削減  	事務所照明の節電	環境事務局 環境管理責任者
		休憩時間、留守中の消灯	
		☆エアコンの節電、温度設定(夏:27℃±1・冬:26℃±2)	
		クールビズ・ウォームビズ適応策	
		休日前に PC のコンセントを抜く	
	ガソリン・軽 油・重油等の使 用量の削減  	エコドライブの推奨	工事部担当者
		空ふかし等の禁止	
		アイドリングストップの推進	
		車両の定期的な保守点検の実施	
水使用量削減  		節水に心がける(節水喚起シールの貼付による啓発)(漏水の点検)	環境事務局 環境管理責任者
産業廃棄物排出量削減 一般廃棄物排出量削減     		廃棄物の分別(マニフェストによる適正処理の徹底)	
		再資源化を図る	
		不要紙の再利用	
		コピー用紙の裏表使用	
		空き缶等は分別してリサイクルする	
		使用済みインクカートリッジのリサイクル	
グリーン購入 		事務用品のエコラベル商品等の購入	
		古紙率の高いコピー用紙の購入	
環境配慮資材  		環境に配慮した製品の優先的使用	工事部担当者
		県内産資材の優先的購入、木製看板、木製型枠使用	
環境配慮工事   		工事現場周囲への騒音、振動対策を行う (防音、防振対応の機械を使用する。防音シートを張る)	工事部担当者
		工事現場周囲への粉塵対策を行う。 (適度な散水等を行なう。防塵シートを張る)	
		民間住宅の省エネを考えた工事の提案をする	
		LED 省エネ機器の提案をする	
社会貢献活動 		地域の清掃活動への参加	工事部担当者
		地域のお祭りの準備・手伝い	
		交通エコポイント活動社会還元事業への寄付	
その他		古切手、プルタブ、ペットボトルキャップ 収集リサイクル	
SDG s 活動		SDG s への取組み	環境管理責任者

☆活動の見直し

1 1. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	規制内容	実施内容	遵守状況 の評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)	事業者の責務:事業活動に従って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	委託契約の締結許可の確認 マニフェスト票の交付、照合確認	遵守
	事業者はその廃棄物を自ら処分すること		
	産業廃棄物管理票(マニフェスト)の交付 交付状況報告書の提出		
	産業廃棄物の委託契約書		
	保管場所は周囲に囲いを設ける 縦 60 cm 以上、横 60 cm 以上の掲示板の設置		
建築基準法	内装工事、空調設備工事 クロロビリス、ホルムアルデヒド、石綿含有建材	・石綿含有建材の使用禁止 ・クロロビリス添加建材の使用禁止 ・ホルムアルデヒドの関する規制	遵守
建設リサイクル法	分別解体等の実施義務	各工事で分別解体計画完了報告	遵守
	再資源化の実施義務	再資源利用計画の確認	
資源有効利用促進法 (リサイクル法)	事業者の責務	発注者への書面による計画説明	遵守
騒音規制法	特定建設作業の実施の届出(建設作業開始 7 日前までに市町村長に届出)	周辺住民からの苦情無し	遵守
振動規制法	特定建設作業の実施の届出(建設作業開始 7 日前までに市町村長に届出)	周辺住民からの苦情無し	遵守
高知県環境基本条例	事業者の責務(事業活動による公害の防止、必要な措置。 適切な処理。環境負荷の低減)	適切な処理	遵守
佐川町環境美化条例	事業者の責務(ゴミ等の散乱防止及び再資源化の促進)	適切な処理	遵守
大気汚染防止法	特定建築材が使用されている保温材等の除去作業の届出	適切な処理	遵守
労働安全衛生法 (石綿障害予防規則)	作業を行う時は、外注先の石綿作業主任者による作業計画 及び届出の実施 建築物等における業務での労働者の石綿ばく露防止に関 する技術上の指針	適切な処理	該当 なし
道路交通法	道路の使用許可書を所轄警察署長に許可申請し規制、遵守する	適切な処理	遵守
フロン排出抑制法	第一種特定製品について定期点検(3ヶ月に 1 回)を実施し 記録する	適切な処理	該当なし

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

環境関連法規等への違反はありません。なお関係当局より違反等の指摘は、過去 3 年間ありません。訴訟及び環境に関する外部の苦情・要望等はありません。

12. 代表者による全体の取組状況の評価及び見直し・指示

作成者： 高橋 寛 作成日 令和7年7月1日				
代表者はエコアクション21全体の見直しに必要な情報を収集し、あるいは環境管理責任者に報告を求め環境経営システムが有効に機能しているかどうかを経営的視点から定期的（毎年7月）に評価し見直す。				
見直しに必要な情報（環境管理責任者からの報告）			代表者による全体の評価と見直し・指示 変更の必要性の有無・指示事項 ・環境経営方針 理念、環境方針とも見直しをしない。 変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無 ・環境経営目標・環境経営計画 ガソリン・電気使用量・一般廃棄物排出量の目標が達成できなかった。環境経営計画の取組には、積極的に推進していく。環境経営計画の取組で不十分な項目については、次年度設定温度の見直しをして対応する。今後とも積極的に環境活動を推進して行く必要がある。 変更の必要性： ☒ 有 ☐ 無 ・実施体制 役割と権限は浸透して発揮されており、現時点で体制の変更はない。 変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無 ・環境経営システム EA システムは有効に機能していると思われるので、今後も従業員に周知徹底し継続して活動を行う。 変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無 ・総括 取組みが不十分な活動(節電・燃料の削減等)見直しを行ない、今後は目標が達成できるように取組を継続し、環境保全に貢献していきたいと思えます。SDGsも引き続き活動を推進していきます。	
環境問題が世界的にとりだたされ、エコに対する人々の意識も変化している今、少しでも未来のために継続していきたい				
環境目標及び環境活動計画の達成状況				
項目	環境経営目標達成状況	環境経営計画達成状況		コメント
電力使用量の削減	×	△		換気が必要な中での電気の使用量削減が課題である。ケルビズに心がけ細目に消すように周知徹底を行う。無駄な使用は控え削減に努めていく。
CO2 排出量の削減	△	○		環境経営目標は CO2 排出量・CO2 排出原単位共目標達成が不十分。取組においては節電・燃料の削減の周知徹底を行う。
水使用量削減	○	○		継続して節水に努める。 引き続き無駄な使用は避け節水を心掛ける。
一般廃棄物排出量の削減	×	○		カタログの排出量が多かった為、目標達成できなかった。
産業廃棄物排出量の削減	○	○		耐震改修でのコンガラ等の発生が主原因であるが環境経営計画の取組には積極的に推進して行く。
グリーン購入量	○	○		エコ商品を率先して購入している。
環境配慮資材 環境配慮工事	○	○	よく出来ている。	
社会貢献活動	○	○	地域の清掃活動、地域の活動には参加できた。 交通エコポイント事業にも参加できた。	
<改善提案> 取組が不十分な活動について(節電・燃料の削減等)の見直しを行なう。				
代表者が自ら得た情報				
自社の事業計画に沿った環境経営活動に今後も継続して取り組んでいきます。				

13. その他の取組

自然保護団体への支援

支援団体	支援内容	支援年度
環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業	平成 30 年 7 月
環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業	令和 1 年 6 月
環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業	令和 2 年 6 月
環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業	令和 3 年 6 月
環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業	令和 4 年 6 月
環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業	令和 5 年 6 月
環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業	令和 6 年 6 月
環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業	令和 7 年 6 月



【車両の掲示によるアイドリングストップ】 【第3次基準値排出ガス対応型・超低騒音型】



【注意喚起シール】



【LED化】